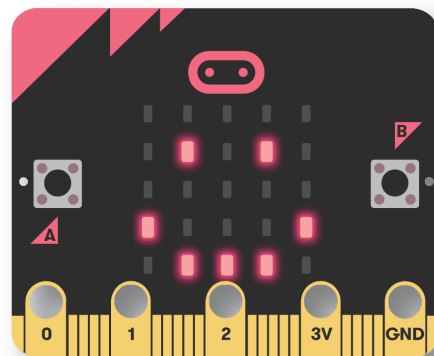


安全に正しく使おう micro:bit

micro:bit は、コンピューターの基本を学ぶためにデザインされています。一方で本物のコンピューターと同じ精密な電子部品が使われています。事故や故障を防ぐため、安全に正しく使うようにしましょう。



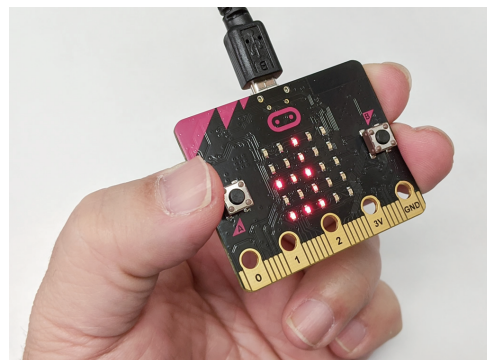
各部の名称



新しいバージョン (v1.5 以降) は、磁気センサーと加速度センサーが一体化しています

正しい持ち方

micro:bit を持つときは、指で両サイドを挟むように持ちましょう。底辺の端子や背面の電子部品にはできるだけ触れないように取り扱いましょう。



注意しよう!

事故や故障を防ぐため、次のような点を気をつけて取り扱いましょう。



金属製品に注意!

通電中に金属製品が micro:bit に触れると、故障や焼損の原因となります。



水ぬれに注意!

基板や電子部品に水がかかると、故障や感電の原因となります。ぬれた手で触らないように。



電源電圧に注意!

定められた範囲の電圧の電源を使用してください。高い電圧は故障・焼損の原因となります。



やさしくいねいに

本体だけでなく、ケーブルやコネクタもやさしくいねいに取り扱いましょう。

このほか、離れるときは電源を切る・小さい子どもの手に触れない所に保管する、といった注意も必要です。

プログラムを micro:bit へ転送する方法 (WindowsPC 版)

①名前をつけ、hex ファイルをダウンロードする

プログラムが完成したら、名前をつけて「保存」または「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。

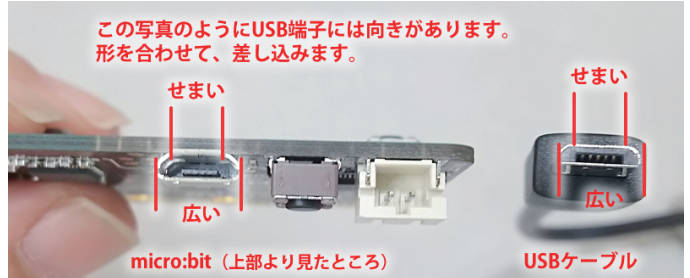
専用サーバーから PC にファイルが転送されます。



②micro:bit と PC を USB ケーブルで接続する

micro:bit と PC は、USB ケーブルで接続します。小さいコネクタは「マイクロUSBオス」というタイプです。正しく接続されると、micro:bit 背面の LED が点灯します。

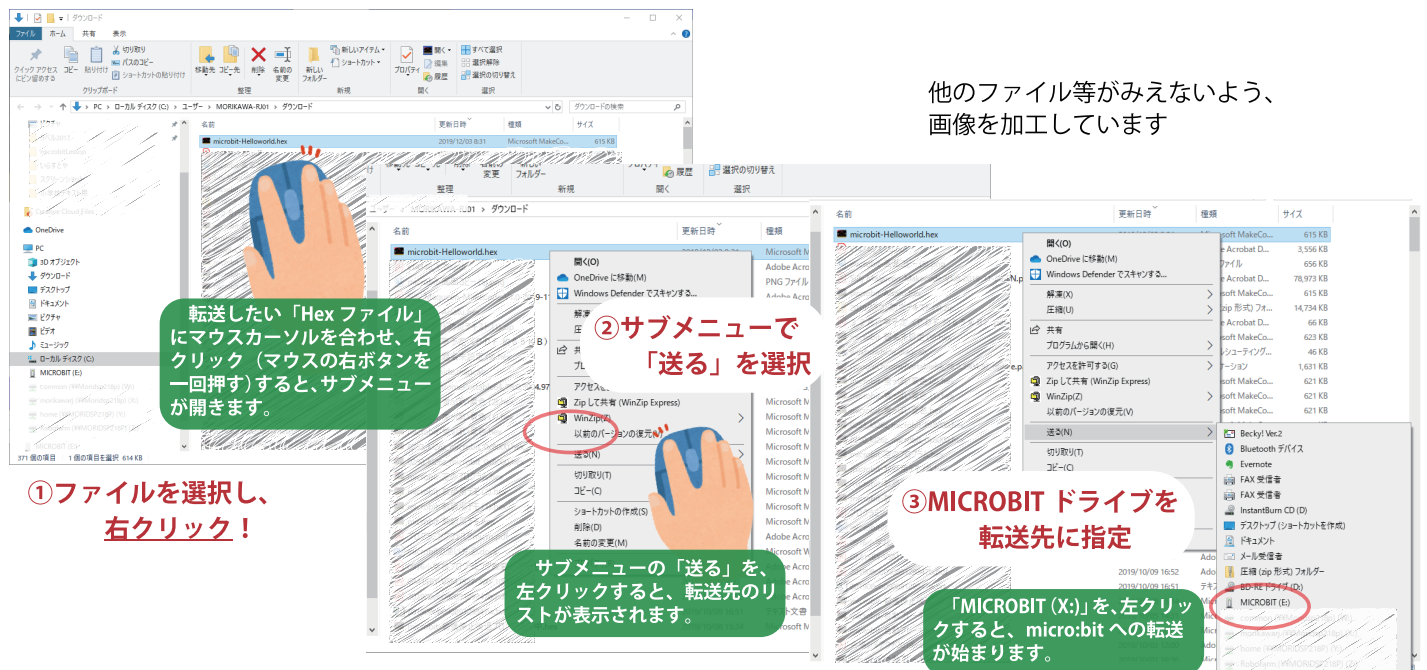
また、エクスプローラー等で「MICROBIT(X:)」という「USB ドライブ」が認識されます。



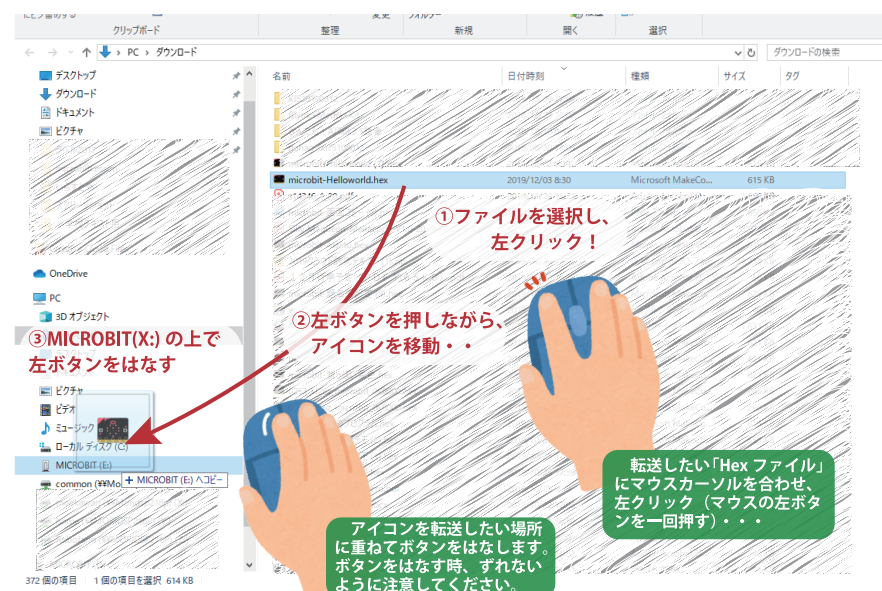
③micro:bit に、hex ファイルを転送する

ダウンロードしたプログラムは、「microbit-〇〇〇.hex」というファイル名で、「ダウンロード」フォルダに保存されます。「ダウンロード」フォルダを開き、作成された「hex ファイル」を、ファイルのコピーと同じようなファイル操作で micro:bit に転送します。二種類の方法を紹介しますが、よく行う操作なので練習して慣れるようにしてください。

a) 「送る」コマンドを使う方法



b) 「ドラッグ&ドロップ」を使う方法



保存した hex ファイルの読み込み方

ディスクなどに保存しておいた hex ファイルは、MakeCode エディターのホーム画面で読み込み再度編集することができます。

ページ右の「読み込む」ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。

